

【全体概要】

曾於地域の花き生産は、需要低迷に加え高齢化や労力不足が課題となり、減少傾向にある。ソリダゴは鹿児島県の気象に適した品目であり、作型や生産方法が多彩であることや(植付時期が限定されない・据え置き栽培が可能)、キク生産と比較して生産費や薬剤散布労力が少ないという特徴がある。このため、ソリダゴを新規省力品目及び既存品目の補完品目として、導入可能な生産体系や、地域に適した技術向上を図り、生産農家の所得安定と、新たな産地を形成する。

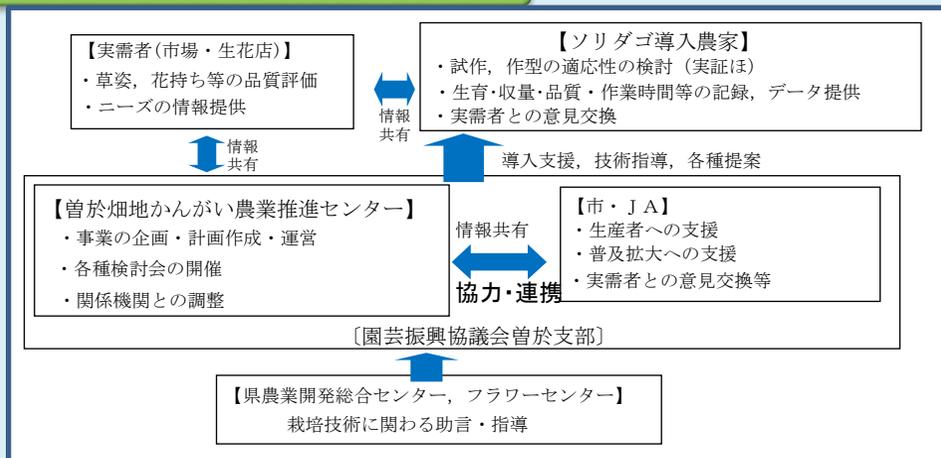
新品種・新技術等の概要

- 品目 ソリダゴ(品種名“タラ”)
- 用途 花束やフラワーアレンジメント等の添え花として利用されている
- 特性等
  - ①据え置き栽培が可能 → 省力的
  - ②低温管理が可能 → 低コスト
  - ③鹿児島県が主に生産 → 単価が比較的安定
  - ④キク農家が既存の施設を活用した栽培可



ソリダゴ“タラ”

実施体制図



実績と今後の展開

- 【実績 事業開始前：R1年3月→事業後：R3年3月】
- 曾於地域での導入拡大(面積0a → 90a, 農家数0 → 5戸)
- 曾於版栽培マニュアルの作成
- ソリダゴ生産者組織の設立と情報共有システムの運用開始
- 簡易定植機の導入による定植労力削減の実現(R2年2戸で導入)

【各種実証結果】

- 日持ち性調査により出荷前処理技術が定着した
- 簡易定植機により定植時間が1/6に短縮された

【今後の展開】

- 消費低迷の継続に対応するために、より低コストで省力的な生産が可能な曾於地域独自の技術を発展させ産地拡大を図る

主な取組内容

- 曾於版栽培マニュアル作成
  - ・生理生態・育苗管理・作式
  - ・日長管理・温度管理・出荷方法
- 各種技術等の実証
  - ・日持ち性調査
  - ・情報共有システムの導入実証
  - ・簡易定植機の導入実証
  - ・専用母株栽培技術の導入実証
- 他産地・流通情報収集
  - ・他産地調査及び農家間交流(日置地区, 沖永良部地区, 高知県)
  - ・市場, 実需者(花店)との意見交換



現地研修会



市場との意見交換